

岡山大学のニュース&トピックスおよび最新情報は岡山大学のホームページからご覧いただけます。

<http://www.okayama-u.ac.jp>

## 6 June

**9日** 「オカヤマウエルカム・ピクニック」を開催  
地域総合研究センター（AGORA）は、留学生と日本人学生が一緒に岡山の街を歩いて歴史と文化を学ぶ「オカヤマウエルカム・ピクニック」を岡山市内で開催。他大学の学生や一般の方を含む103人が参加。10人程度のチームに分かれて後楽園や岡山城、出石町といった観光スポットを巡り、田植えやお茶席を体験した。



**15日** 環境管理センターが講演会「東日本大震災2年後から考える環境・安全・安心」を開催

**26日** エコナイト2013を開催  
本学学生らでつくる岡山大学エコナイト2013実行委員会は、環境省の「CO削減/ライトダウンキャンペーン」の一環として、東福施設（ピオーネ・ニオン）で「岡山大学エコナイト2013」を開催。今月初めて公募したエコナイトキャラクターは、発電機をイメージした「リットちゃん」に決定。



**20日** 教育学部と附属図書館の共催による「池田家文庫」ことも向け岡山後楽園発見ワークショップを開催

**26日** 卒業生フオーアップセミナーを東京サテライトオフィスで開催

**27日** 定例記者発表を開催  
おかやまメディカルイノベーションセンター（OMIC）の「OMIC産学官共同研究拠点整備・分子イメージング研究推進事業」が、文部科学省先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業に採択

**28日** 内山工業株式会社から同社の海外工場で本学学生が研修を行うための支援金の寄贈を受け、感謝状を贈呈

**29日** 岡山大学「学部」創生シンポジウムを開催



## 7 July

**1日** 「電波の日」総務大臣表彰受賞の秦正治教授に学長表彰  
岡山大学病院で生体肺中葉移植に世界で初めて成功

**10日** 国際交流スピーチコンテストを開催  
言語教育センターは、留学生と日本人学生が国籍や言語文化を超えて相互に理解するきっかけにしようと、国際交流スピーチコンテストを津島地区の一般教育棟で開催。サウジアラビアやインドネシアなど4カ国7人の留学生と日本人学生計10人が日本語でスピーチ。国際交流に関心のある一般の方や学生ら約100人が参加し、熱心に聴講した。



**16日** 中国中央財經大学の副学長らが来学

**16日** 8月2日 資源植物科学研究会 所史資料館で企画展示「貴重資料合同展「三つの研究所」」を開催

**17日** 企業への就職や進学を目指すボストーク、博士課程大学院生のための講演会を開催

**24日** 中国陝西師範大学の甘暉党委書記らが学長を表敬訪問

**25日** 定例記者発表を開催

**25日** 環境管理センターが環境マネジメントについて学芸サステイナブルセミナーを開催

**26日** 「岡山大学津山中央病院共同運用/がん陽子線治療センター」の共同記者発表を開催

**31日** 第8回高校生・大学院生による研究紹介と交流会を開催  
大学院自然科学研究科は、高校生と大学院生が研究内容を紹介し、双方の交流を深める。第8回高校生・大学院生による研究紹介と交流会の会を創立五十周年記念館で開催。岡山県内外の高校17校から84グループと本学大学院自然科学研究科の大学院生31人が参加し、ステージ発表やポスター発表を行い、交流を深めた。



## 8 August

**2日** キャリア開発センターが「大学キャリア支援フォーラム」を開催

**5日** 森田潔学長と学部生が教育・研究の現状と課題について対談する「学長と学生との対談」を開催

**6日** 文部科学省「研究大学強化促進事業」の支援対象機関に選定

**6日** 「家族の日」を開催  
ダイバーシティ推進本部次世代育成支援室は、本学教職員の家族を招き、普段の仕事ぶりなどを見学・体験してもらった「家族の日」を開催。教職員とその家族計15組38人が参加。



**7日** ダイバーシティ推進本部男女共同参画室が研究スキルアップ講座「英語論文書き方セミナー」を開催

**9・10日** オープンキャンパス2013を開催

**27日** 世界ジュニアパワートリフティング大会で金メダル獲得  
米国テキサス州で開かれた「第31回世界ジュニアパワートリフティング選手権大会」の男子66kg以下級で、本学の西村義人さん（医学部5年）が「スクワット」「ベンチプレス」「デッドリフト」「トータル」の4部門すべてで金メダルを獲得。同大会のすべての部門で金メダルを獲得するのは日本人男子初の快挙。



## 9 September

**1日** ナノバイオ標的医療イノベーションセンターが「難治固形がんに対する遺伝子治療」キックオフシンポジウムを開催

**6日** 第2回岡山大学知的財産フォーラム2013を開催

## 研究・臨床成果

■大学院医歯薬学総合研究科の森田学教授の研究グループは、抗酸化物質の一つである還元型コエンザイムO2を歯茎に塗布することで、歯茎の加齢変化を抑制することを突き止めた。米国の歯学系科学雑誌「Journal of Dental Research」に掲載。（9月・臨時記者発表）

■大学院自然科学研究科の松本正和准教授総合研究大学および分子科学研究所の研究グループは「コンピュータシミュレーション」を用いて、氷が内部から融解する仕組みを分子レベルで詳細に解明する事に世界で初めて成功した。科学雑誌「Nature」に掲載。（9月・臨時記者発表）

■大学院医歯薬学総合研究科の成瀬進治教授と入部玄太郎講師の研究グループは、高血圧治療に広く使われているカルシウム拮抗薬のアゼルニジピンとアムロジピンが心臓収縮をほとんど抑制しないことを世界で初めて単一細胞レベルで確認した。欧州の薬理系科学雑誌「European Journal of Pharmacology」に掲載。（9月・臨時記者発表）

■大学院自然科学研究科の山本泰教授らの研究グループは、植物の光合成の光化学反応系を強化から守る上で、葉緑体チラコイド膜や膜上の光化学系複合体の動きが極めて重要であることを明らかにした。オンライン科学雑誌「PLOS ONE」に掲載。（9月・定例記者発表）

■岡山大学病院の古松毅之助教授らの研究グループは、適度なメカニカルストレスはさまざまな転写因子にはたらく活性化する中で、軟骨様細胞における細胞外基質産生を飛躍的に亢進させることを明らかにした。国際英文科学雑誌「Journal of Biomechanics」に掲載。（7月・臨時記者発表）

■大学院自然科学研究科の高田潤特任教授の研究グループは、地下水が湧き出る水辺で微生物が作る従来不要物とされていた酸化鉄を原料として、ナノ粒子から構成される人工的に作製困難なシリカ・マイクロチューブ材料を開発し、これが有機合成反応で優れた触媒活性を示すことや様々なガス吸着機能が高いことを世界で初めて見出した。米国の科学雑誌「ACS Applied Materials & Interfaces」に掲載。（7月・臨時記者発表）

■岡山大学病院の秋山倫之講師らのグループは、非常に稀なクレアチン合成障害の患者を国内で初めて発見し、治療を開始した。この症例報告はドイツの臨床系国際雑誌「Journal of Inherited Metabolic Disease Reports」に掲載。（7月・臨時記者発表）

■大学院自然科学研究科の妹尾昌治教授らの研究グループは、抗体医薬に対する耐性に関わるタンパク質と耐性機構を世界で初めて明らかにした。米国の科学雑誌「Journal of Cancer」に掲載。（7月・定例記者発表）

■大学院医歯薬学総合研究科の榎本秀一教授らの研究グループは、金属イオンを認識して発色し、その発色濃度に応じて色調が変化するケミカルセンサーを開発した。ドイツの科学雑誌「Chemistry-An Asian Journal」に掲載。（8月・臨時記者発表）

■資源植物科学研究所の平山隆志教授と理化学研究所の研究グループは、植物特有のミトコンドリア遺伝子発現調節機構を世界で初めて解明した。「Nature Communications」に発表。（8月・臨時記者発表）

■大学院環境生命科学研究科の村田芳行教授らの研究グループは、病原菌表面由来物質であるエリシターがカルシウム依存性タンパク質キナーゼであるPKCを介して植物の葉にある気孔の閉口運動を誘導する分子機構を解明した。米国の植物科学雑誌「Plant Physiology」に掲載。（9月・臨時記者発表）